

わたしたちのまち と 自然を大切にするために

おか ほつ と いち ぶ  
我孫子市岡発戸・都部

# 谷津ミュージアムの会

ミュージアム通信 2021年12月号



昆虫観察会



水の館1階手賀沼ステーションにて谷津展開催(8/21,22)



谷津学校の様子



田植え作業 今年度は最大の収穫量でした。お疲れさまでした!!



私の子供の頃の話です。昭和20年代、米作りが盛んな田舎に育った私にとって、里山は遊びと学びの場所でした。スマホとかゲーム機がない時代、裏山と呼ぶ林の中で日が暮れるまで遊んでいました。カブトムシやセミを追いかけたり、ハゼやウルシにかぶれてしまったり、ムカデやハチに刺されたりもしました。水の中からは、タニシやドジョウ、サワガニなどを捕まえて遊んでいました。クワやガマズミ等の酸っぱい味、モミジイチゴやアケビの甘い味、少し苦い栗の実などの自然の味を楽しみ、自然を相手にした何とも言えぬ贅沢な遊びでした。

我孫子市岡発戸・都部の谷津を知ったのは、10年前。雑木林や水辺に囲まれた谷津の自然は、子供の頃の懐かしい里山の思い出を呼び起こしてくれました。

谷津ミュージアムの自然は、まさに里山そのものです。この自然を壊すことなく、里山の再生と懐かしい田園風景を残そうと、私たち谷津ミュージアムの会は維持管理活動を続けています。

谷津ミュージアムは、子供たちにとっては自然と遊び、生きものを知ることでできる場所です。大人たちにとっては、花や野鳥など、自然との触れ合いがある憩い・癒しの場所となりました。

これからも私たち 谷津ミュージアムの会 は、SDGsの精神で維持管理活動を続けていきたいと思っております。谷津での環境整備には終わりがありません、落葉すくい、落木集め、ゴミ拾い、野草園の手入れなど道具を使わない作業もあります。多くの会員の皆さんの参加を希望致します。

また、谷津ミュージアムの維持管理や方向性など、様々な意見をお寄せ下さい。今後の活動に繋げていきたいと思います。

(文責) 谷津ミュージアムの会 代表 平原 寿一郎

## 谷津でのお約束

- 耕作の迷惑はお控えようにしましょう。
- 田んぼや畦へは勝手に入れないで下さい。
- 谷津から生きものなどを持ち出さない。
- 谷津へ生きものなどを持ち込まない。
- 犬の野放しをせず、フも持ち帰りましょう。

## 1. 谷津ミュージアムの会の活動記録

### ★夏の昆虫観察会★

7/22  
(祝)

中央学院高等学校生物部と事務局手賀沼課の協働で開催しました。生徒たちの発表の場であり、谷津ミュージアムを市民の皆様にご覧いただく良い機会となりました。来年度以降も様々な楽しい企画を計画していきます。

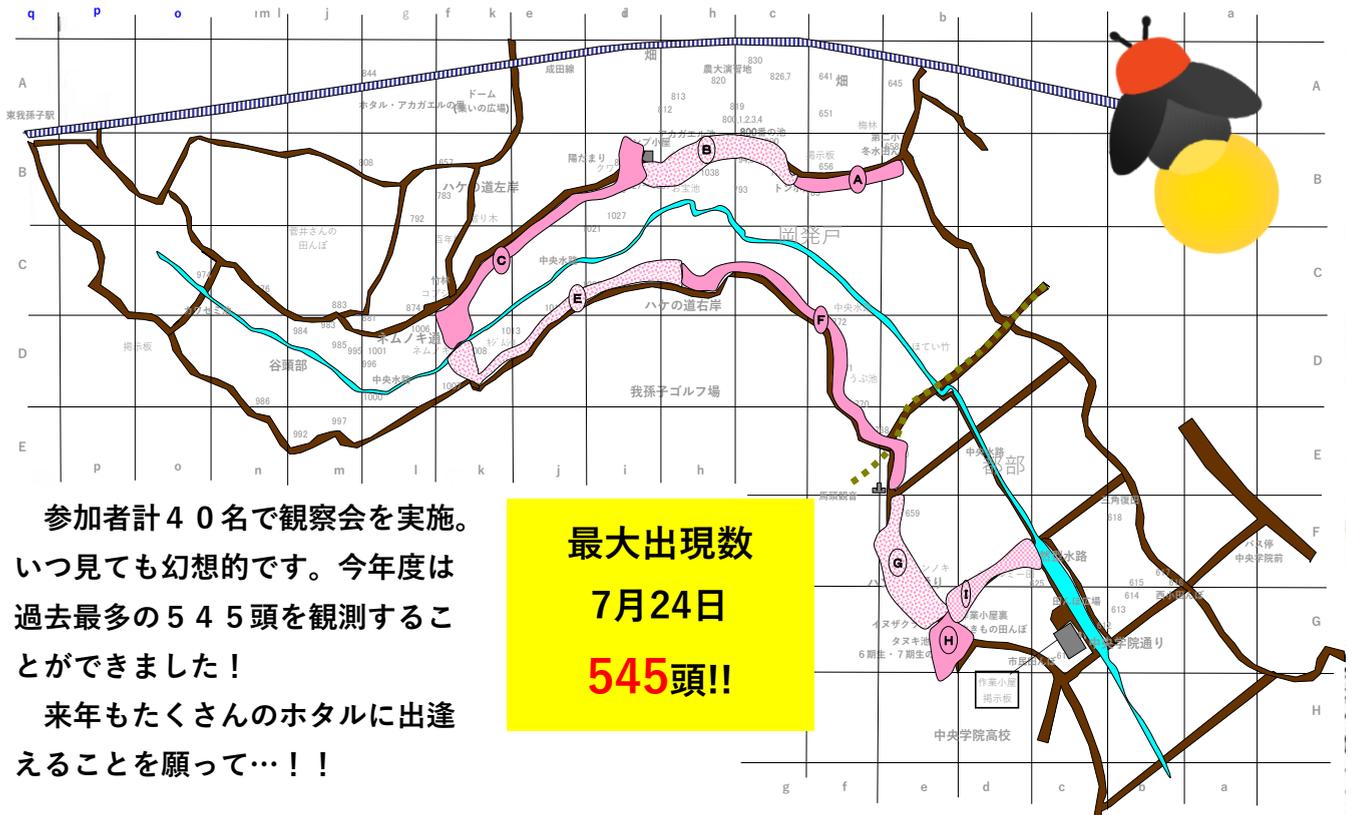


### ★ホタル観察会★

8/1  
(日)

参加者計40名で観察会を実施。いつ見ても幻想的です。今年度は過去最多の545頭を観測することができました！  
来年もたくさんのホタルに出逢えることを願って…！！

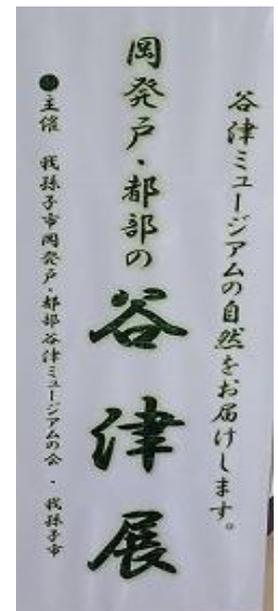
最大出現数  
7月24日  
545頭!!



### ★谷津展★

8/21  
(土)  
・  
8/22  
(日)

中央学院高等学校生物部の昆虫標本と会員の方の標本を借用して、谷津展での展示を行いました。また、谷津内で見られる動植物の写真や谷津の航空写真なども展示いたしました。さらには、中央学院高等学校生物部が飼育しているアオダイショウのふれあいコーナーも大盛況でした。来年はもっと多くの方に谷津の魅力を感じていただけるよう、頑張りたいと思います！



## 2. 米作り

### 米作り

<p>第1回 田起こし</p>	<p>今年度の田んぼ作業の始まりです！今年も谷津ミュージアム内で田んぼ作業が始まりました。鶏糞を撒き、田起こしを行います。畔の補修作業も一緒に行います。</p>		
<p>第2回 代掻き</p>	<p>代掻き作業です。水につかっている土を平らにしていきます。この作業は苗の成長を均一にするために必要な作業です。後日、苗を購入して水に浸しておきました。</p>		
<p>第3回 田植え</p>	<p>田植え作業です。一列になり、等間隔で苗を植えていきます。今は手でつまめるほどの苗ですが、数か月後にはどれぐらい大きくなるのでしょうか？</p>		
<p>第4~6回 草取り</p>	<p>草取り作業です。雑草を取り除き、稲にきちんと栄養がいきわたって生長するようにします。夏の暑さにやられないように休憩はしっかりと取りましょう！</p>		
<p>第7回 稲刈り</p>	<p>稲刈り作業です。今年度の穂は実りが良く、一粒一粒に重みがあります。今年は小屋脇でオダ掛け、四分割田んぼで杭掛け（表紙写真右下）を見ることができました。</p>		
<p>第8回 脱穀</p>	<p>脱穀作業です。昭和のころに使われていた脱穀機を使って行います。脱穀したお米の総量は約600kg。過去一番の収穫量になりました。</p>		
<p>第9回 田起こし</p>	<p>来年に向けての田起こし作業です。稲を育てるのに理想的な土を作るための大事な作業です。最初の作業日には耕運機が止まってしまう、手作業でも田起こしをしました。</p>		

### 3. 階段づくり

#### 階段づくり（ホタル・アカガエルの里、作業小屋前）

##### 老朽化した杭と階段

老朽化により杭は倒れてしまい、階段はぼろぼろに…。里山に上り下りするのもドキドキしちゃいます。そんな折、助成金をいただくことができたため、新たな階段と杭の設置をすることになりました！



##### 古くなった杭と階段の撤去

まずは古くなったものの撤去作業から。会員の皆様が主動となり、安全第一で作業を行っていきます。作業中の看板もしっかりと立てて、一本一本に今までの感謝の気持ちを込めて外していきます。



##### 新しい杭と階段の設置

新しく設置する階段や杭には防腐剤を染みこませ、長く設置ができるようにしてあります。ただ地面に打ち込んでいくだけではなく、まっすぐ丁寧に打ち込んでいきます。階段部分には土もきれいにに入れていきます。



##### 作業後に記念写真

設置後、作業をしていただいた会の皆様と最初に階段に訪れた方で写真を撮りました。杭もきれいに続いており、池に落ちないように守ってくれることでしょう。これからも長く里山の景観が守られることを祈ります。



##### 作業小屋前にも階段を設置していただきました！

多自然型水路に降りる際に土が崩れ落ちてしまったり、高さがある陸に上がるのが大変だったり、そんな不便さを解消していただく階段を会員の方に設置していただきました。これでらくらく川底に足を着くことができます。



## 谷津とは

「谷津」とは、台地に谷が入り込む独特の地形で、その細長い低湿地部は昔から水田として利用され、谷津田と呼ばれてきました。谷津田は、米を生産する場であるだけでなく、様々な生き物を育む場でもありました。谷津の自然環境を再生し、伝統的な農業やくらしの風景である農村環境を復活させ、それをまるごと「野外博物館」にする「谷津ミュージアム」事業を進めています。市民と自然とのふれあいや、農業者と消費者の交流が図られ、「自然と人の共存」のシンボルになることを期待しています。

## 谷津の生き物



ウチワヤンマ



ハイケボタル



ニホンアカガエル



ニホンアカガエルの卵塊



アオダイショウ



ヒカリモ



コサギ



ツリガネニンジン



モズ



ウワミズザクラ



アオサギ



サクラ



カワセミ



ノスリ



ノウサギ



カヤネズミ

## 2022 第20期 谷津学校生 募集

集え！未来の☆谷津守人☆！



広報あびこ3月16日号掲載予定

## 2022 無農薬米田んぼ作業者 募集

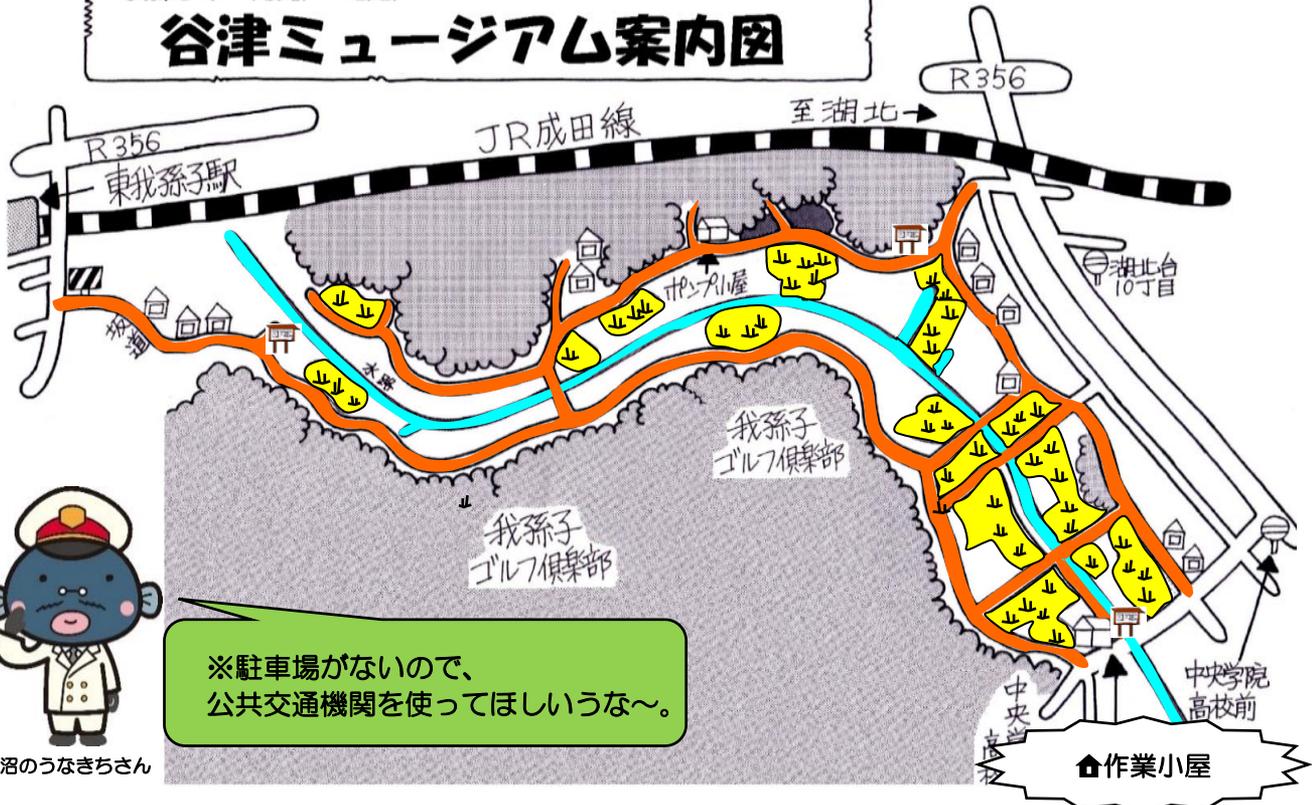
一緒に谷津で米づくりをしてみませんか？



広報あびこ3月1日号掲載予定

おかげさまで  
我孫子市 岡発戸・都部

### 谷津ミュージアム案内図



手賀沼のうなぎちゃん

### 谷津ミュージアムの会の活動について

- 日 時：毎週水曜日・土曜日 9時00分から12時00頃まで（雨天中止）
- 集合場所：谷津ミュージアム作業小屋（中央学院高校下）
- 作業内容：維持管理作業（草刈り、水辺づくり、いきもの調査など）
- 服 装：作業のできる服装、長靴



手賀沼のうなぎちゃん



身体を動かしたり、自然が好きな人は是非、作業の手伝いに来てほしいうな〜。

- ★発 行：我孫子市岡発戸・都部  
谷津ミュージアムの会
- ★事務局：我孫子市役所 手賀沼課  
〒270-1146  
我孫子市高野山新田193番地水の館3階
- ★TEL：04-7185-1484